

インターポート

兵庫教育文化研究所だより

No.164

2015年11月19日

発行所 兵庫教育文化研究所

〒650-0004

神戸市中央区中山手通 4-10-8

「自治」の力を育むために 自治的諸活動と生活指導部会授業研究会

研究所自治的諸活動と生活指導部会が、赤穂市の小学校において学級活動の授業研究会をおこないました。5年生の学級会の時間で、議題は「とくいな人も苦手な人も楽しめるバスケットをしよう」でした。

冒頭、司会約の児童から「心配や不安を出し合いましょう」と投げかけがあり、大勢が挙手して発表しました。その後、その心配や不安を解消するためのルールを決めようという流れでした。この計画は、事前に司会者グループが担任とともに話し合い、決定されたものだそうです。板書やノート記録も児童が担当し、最後まで子どもたちだけで話し合いをすすめました。

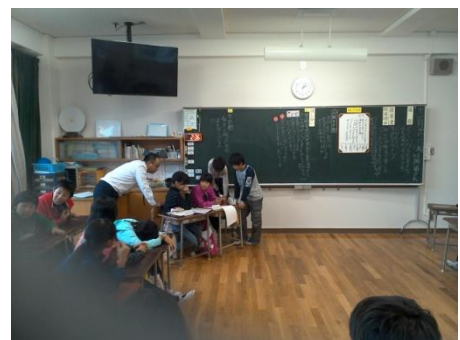


また、授業前に参観者に回覧された「学活ノート」からは、それぞれの授業の前に子どもたちがどんなことを考えていたのか、授業後にどんな振り返りをしたのかがわかりました。

研究協議では、少数の反対意見にどう対応するか、話し合う活動をするための進行の「型」の扱いについてなど本時の授業に関わることから、教室での座席の決め方や学級活動の時間の持ち方など一般的なことまで、幅広い内容で活発な討議がなされました。また、中学校では進路指導など学校・学年全体で必要とされる時間が多く、学級裁量の時間が余りとれないという現状も報告されました。そのどれもが最終的には「子どもたちが自治的な活動をできるようにするためにはどうすればいいのか」というテーマにつながっていきました。

共同研究者からは、以下のような助言がありました。

- 「学活ノート」は、大変おもしろいとくみである。毎回の経験が次につながっていることがよくわかる。
- ある児童の「学活ノート」に、司会に対する意見も見られたが、そういう機会も話し合いの「型」から脱却するチャンスになり得る。



「自分たちで話し合っただけだからこそ大事にできる。こういう活動は時間がかかるが大事にしないとイケない」ということを参加者一同で再確認した授業研究会となりました。

(本授業の指導案は「組合員専用ページ」に掲載しています。ID、パスワードは各支部へお問い合わせください。)